



『モーツァルトと超倍速聴アファメーション技術を応用したオリジナル MOZART GST メソッドとオキシトシンの分泌』



contributed by

上田 悠貴 一般財団法人 UNI H&H 大学院 主任研究員

カナダブリティッシュコロンビア大学理学部・栄養学科卒業後、数々のスポーツチームなどの健康指導・健康プログラム作成を行う。2019年日本へ帰国し健康のアドバイザーとして様々な企業のアドバイザーとして活動を開始。UNI H&H 大学院 MASTER 修了。主な研究テーマは、オキシトシンや脳の DMN ネットワーク、サーチュイン遺伝子。

要 約

科学の進展により、かつては見る事ができなかった現象が観測可能になり、それらが人体に及ぼす影響についても新たな理解が深まっています。例えば、我々は空気中の酸素濃度が約 21% であることを知っており、この濃度が 18% 以下に低下すると、酸素欠乏症と呼ばれる状態に陥り、筋力の低下や意識喪失などを引き起こす可能性があることが明らかにされています。同様に、匂い、栄養素、色彩なども人体に様々な影響を与えることが知られています。

このような背景の中で、UNI H&H 大学院では音の周波数に関する研究を積極的に進めてきました。その結果、音が人体に与える影響を最大限に活用するための特殊音源技術、MOZART GST の開発に成功しました。特に、この技術は人体に与える影響について深く掘り下げるため、愛情ホルモンとして知られるオキシトシンの分泌に注目して研究を進めています。

MOZART GST の研究は、音の周波数が人間の心理や身体に及ぼす影響を科学的に解明することを目指しており、特にオキシトシンの分泌との関連性を明らかにすることで、この技術の効果をより深く理解しようとしています。このような研究は、心理療法や教育、職場環境など、幅広い分野における応用につながる可能性を秘めています。

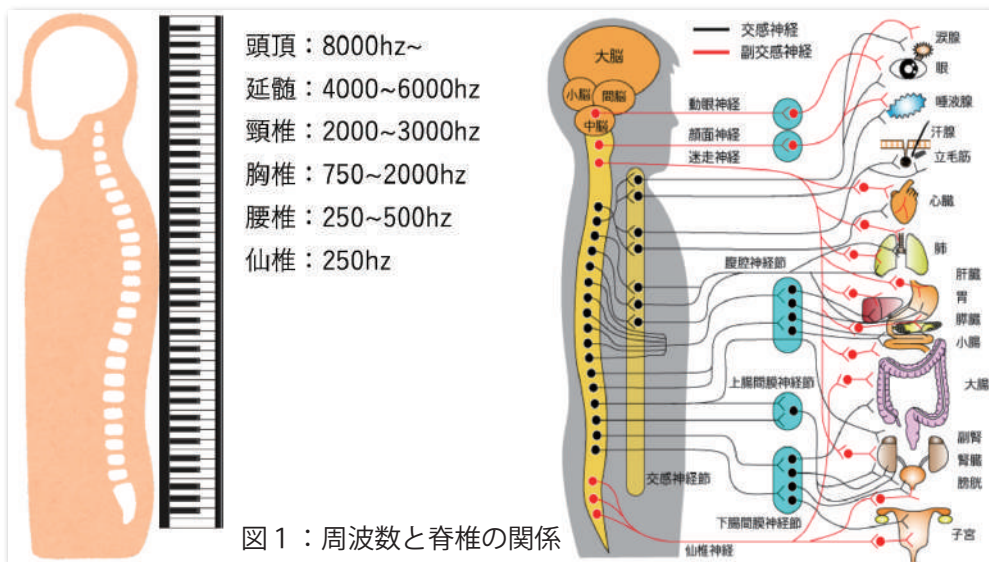
トマティス理論

この理論は、アルフレッド・トマティス博士によって提唱され、音の周波数が脊椎の特定の部分に反響し、神経系の働きを調節するという考え方に基づいています。特に、4000Hz 以上の高周波数が迷走神経の働きを調節し、副交感神経を優位にするとされています (図 1)。

和合治久博士によって厳選されたモーツァルトの音楽は、この理論を応用した音楽療法に用いられ、特に 4000Hz 以上の高周波が豊富に含まれています。この音楽には倍音や $1/f$ のゆらぎも含まれており、副交感神経を刺激するとされています。

トマティス理論を能力開発に応用することで、リスナーは次のような効果を得ることが期待されます：

- ・集中力の向上：高周波数の音が脳神経に作用し、集中力や注意力を高める。
- ・ストレス軽減：副交感神経が優位になることで、リラックス状態を促進し、ストレスや緊張を軽減する。
- ・記憶力の強化：音楽のリズムや周波数が記憶力を高めることが示唆されている。
- ・創造性の促進：モーツァルトの音楽に含まれる倍音やゆらぎが、創造的思考を刺激すると考えられる。



トマティス理論による音楽療法は、これらの能力開発に有効である可能性があり、学業や仕事、日常生活でのパフォーマンス向上に役立つと考えられます。例えば、勉強や作業を行う際に、トマティス理論に基づいた音楽を背景音楽として流す

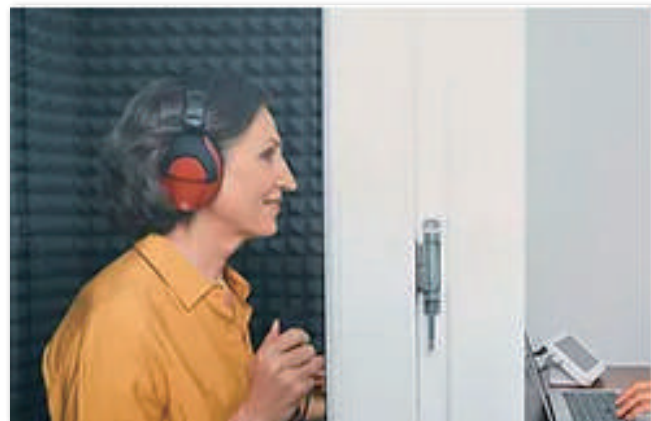
ことで、集中力を高め、創造的なアイデアを生み出しやすくなる可能性があります。また、音楽療法は心身のリラクゼーションにも寄与し、ストレスや不安を和らげ、全体的な幸福感やウェルビーイングを高める効果が期待されます。

重要なのは、トマティス理論に基づく音楽療法が個々のニーズや状況に応じてカスタマイズされるべきであるということです。和合治久博士によって厳選されたモーツァルトの楽曲は、一般的なガイドラインを提供するものの、個人の好みや反応に合わせて選曲を調整することが重要です。このようにして、トマティス理論に基づく音楽療法は、より効果的に能力開発や心身の健康をサポートすることができるでしょう。

速聴理論

速聴理論は、音楽や音声コンテンツを通常よりも高速で再生し、聴取することによって、能力開発や意識改善を図る手法です。この理論の特徴的な側面は、特に3.9倍速以上での聴取が難解であるにもかかわらず、その速度を超えると情報が無意識の領域に浸透し、深層心理に影響を与える可能性があるとしてされています。

MOZART GST 技術は、この速聴理論を応用したもので、クーエ療法で使用されるアファメーション（肯定的な自己暗示）を50000倍以上の速度で聴くことにより、深層心理に大きな影響を与えるとされています。この驚異的な速度での聴取は、意識的な理解を超えた処理を脳に促し、潜在意識の変革を目指しています。



速聴理論の応用範囲は非常に広く、言語学習、音楽理解、心理療法など多岐にわたります。例えば、言語学習では、速聴を通じて新しい言語のリズムや音韻に迅速に慣れることができるとされています。心理療法の分野では、速聴によって被験者の潜在意識に働きかけ、心理的な問題の解決を助けるという応用が考えられています。

この理論の背後には、人間の脳と無意識の処理能力が深く関わっているとされ、従来の学習方法に対して革新的なアプローチを提供しています。しかし、この手法の効果には個人差が存在し、科学的な検証も進行中であることから、その有効性にはまだ議論の余地があります。それにもかかわらず、速聴理論は、人間の潜在能力を引き出す新たな手法として、今後も注目されるでしょう。

MOZART GST とオキシトシン

トマティス理論は、特定の音の周波数が脊椎の特定の部分に反響し、神経系の働きを調節するという考えに基づいています。特に4000Hz以上の高周波数が迷走神経の働きを調節し、副交感神経を優位にするとされ、これはストレス軽減や記憶力の強化、創造性の促進などに効果があるとされています。これらの音楽療法の効果は、オキシトシンの分泌の変化と関連している可能性があります。オキシトシンは「愛情ホルモン」とも呼ばれ、リラクゼーションや幸福感の向上に寄与することが知られています。

速聴理論は、音楽や音声コンテンツを通常よりも高速で再生し、聴取することで、能力開発や意識改善を図る手法です。特に3.9倍速以上での聴取が難解であるものの、その速度を超えると情報が無意識の領域に浸透し、深層心理に影響を与えるとされています。MOZART GST 技術は、この速聴理論を応じたもので、アフアメーションを50000倍以上の速度で聴くことにより、深層心理に大きな影響を与えるとされています。この技術に関する研究では、オキシトシンの分泌の変化が確認されていると報告されています。

これらの理論は、音楽や音声が人間の心理や身体に及ぼす影響について新たな知見を提供し、特にオキシトシンの分泌に着目することで、その効果の理解が深まる可能性があります。オキシトシンは社会的結びつき、信頼感、リラクゼーションを促進する作用があり、これらの音楽療法や速聴技術が人間の心理状態や行動にどのように影響を与えるかを解明する鍵となり得ます。



MOZART GST 技術の研究においてオキシトシンの分泌の変化が確認されています。この技術が心理的なウェルビーイングやストレス軽減に寄与する可能性を示唆しています。このような知見は、心理療法や教育、職場環境等、様々な分野での応用を促進することが期待されます。

MOZART GST の研究

《研究参加者》

- 人数：10名（男性4名、女性6名）
- 平均年齢：35歳
- 選択基準：性別の多様性と研究目的に関連する年齢
- 同意：全員が自発的に同意書に署名
- 倫理委員会：地元の倫理委員会の承認を得て実施

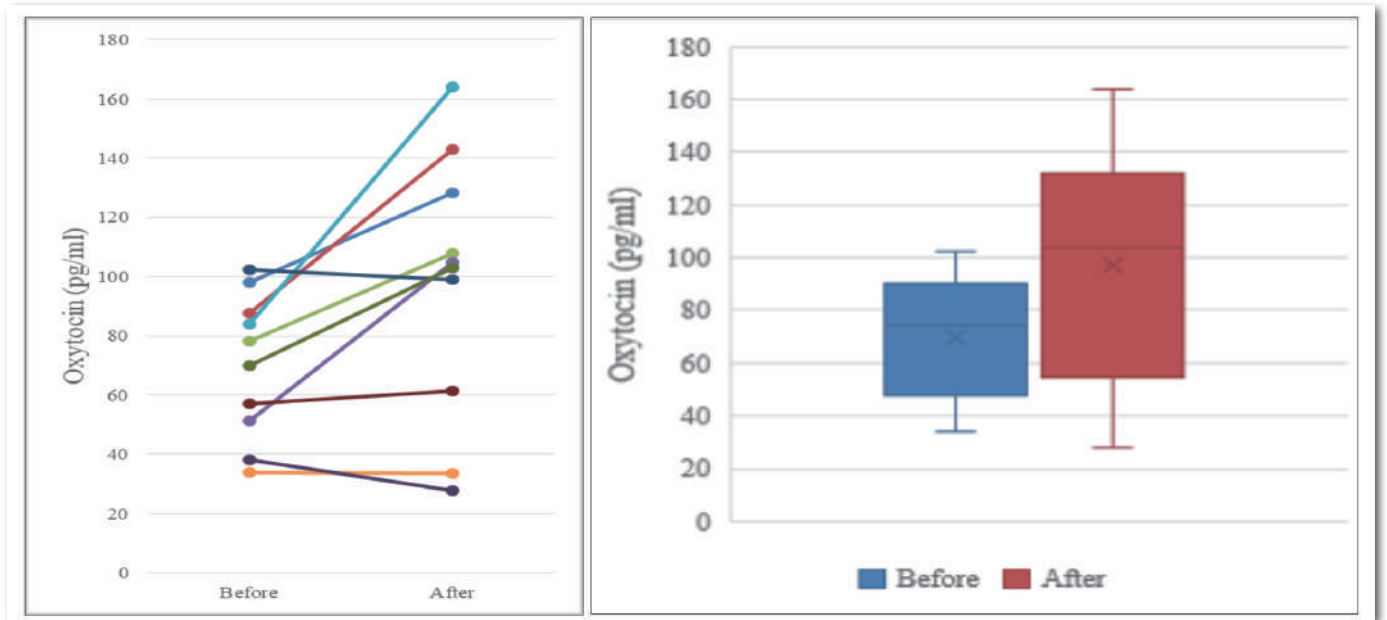


図 2：MOZART GST 介入前後の唾液中オキシトシンの変化

《手順》

- ・ MOZART GST: 15 分間の聴取

《OT 評価》

- ・ 唾液サンプル：MOZART GST 介入前後に各参加者から 0.5 ml の唾液サンプルを収集
- ・ 保存：-20℃で迅速に保存し、完全性を保持
- ・ 分析方法：酵素連結免疫吸着測定法（ELISA）を使用
- ・ OT ELISA キット：ADI-900-153A（Enzo Life Sciences, Farmingdale, NY）を使用
- ・ 読み取り：405nm の光学密度でマイクロプレートリーダーを使用して読み取り

結果：

MOZART GST 介入後に OT レベルが増加したことが明らかになりました。介入前の平均 OT レベルは 70.06 pg/ml ± 7.62 (M±SE, n=10) でしたが、介入後には 97.3 pg/ml ± 14.09 (M±SE, n=10, p=0.009) に上昇しました。参加者のうち、6 人は OT レベルの顕著な増加（前処置レベルから 30 パーセント以上）を示し、2 人はわずかな増加（10 パーセント未満）を示しました。一方で、3 人の参加者は介入後に OT レベルの減少を示し、1 人は大きな減少（20 パーセント以上）を、2 人はわずかな減少（5 パーセント未満）を経験しました。



《執筆者》

上田悠貴（ユウキ・ウエダ）
 一般財団法人 UNI H&H 大学院 主任研究員
 ブリティッシュコロンビア大学 理学部卒

《発行日》

2024 年 1 月 17 日

《発行元》

一般財団法人 UNI H&H 大学院
 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 41-10-102
 WEB : <https://www.uni-hh.com>
 Email : info@uni-hh-daigakuin.com